

第5学年 総合的な学習指導案

日時 平成21年11月5日(木) I校時
児童 男子28名 女子37名 計65名
指導者 T1 松木田 篤子
T2 竹林 瑞彦
場所 図工室

1 単元名 地球に目を向けよう2「みんなの地球」

2 単元について

5年生は総合的な学習の年間計画の中で「自ら課題を設定し、課題解決のために様々な調査活動を行い、分かったことを自分なりの考えを持つことを通して、人、物、事と自分との関わりを多面的にとらえ自分の生き方を見つめるとともに、活動の中で各教科等での学びを相互に関連づけていく力を育成する。」ことを目標としている。

今、社会問題として環境問題が取り上げられている。社会・理科等で関連したことについて学習している5年生にとって、この地球規模の問題は、環境を守っていく上で考えていきたいテーマである。各地では、ゴミから発生する有害物質や空気が汚れてきたことによって酸性雨が降るといった問題などが起こっている。また、ものを燃やしてエネルギーを作り出し、便利になっている一方、温室効果ガスによって地球全体が暖かくなり、さまざまな問題を引き起こしている。花巻市でもゴミの問題に力を入れ分別活動を行っているが、子どもたちの中で自分たちの出しているゴミも環境問題を引き起こしている遠因だと気づいている児童は多くない。私たち一人一人がこの問題に向き合い、エネルギーの使い方を考えたり、ゴミを出さない工夫をしたりして地球を守っていくことが求められている。

そこで、本単元では、身近な環境問題を題材にすることにした。この問題は、児童が興味・関心を持って真剣に取り組むことができる教材であり、自分たち一人一人が環境に対して意識をし、生活を見直していくことのできる教材であると考えた。そして、自分たちのできることを考えて実践し、自分たちから多くの人たちに発信して、未来の地球を自分たちの手で守っていくようにさせたい。

児童は、これまでに川の環境について学習してきている。今までは身近にある地域の川については考えたことがなかった児童たちが、川にすむ生物や水質などを調査するうちに、今と昔では自然の環境が大きく変わってきていることを学んできた。その中で自分たちにできることを考え、実践していこうという気持ちは少しではあるが育ってきている。しかし、川以外の環境について考えていこうとしたり、自分たちの考えたことをみんなに広げたりという思いまでには至っていない。

そこで、本単元の指導にあたっては、まず、事前に環境問題についてのアンケートを取り、児童の意識を認識した上で、地球全体の環境問題についてゲストティーチャーから話を聞き、今地球で起きている問題に気付かせ、地球のかかえる問題をとらえるようにしていく。

次に自分の学習課題を決め、インターネットや本を使ったり、インタビューや調査を行ったりして自分の興味をもった環境問題を、同じ課題をもつ友達と協力して調べていく。その中で課題について追究し、身近な環境にもふれるようにさせていく。

さらに調べたり調査したりしたことを発表会で発表させ、調べたことを全体に広げていけるようにさせる。そして、これから自分達はどのような行動をとって行けばよいか話し合い、実践していけるようにさせたい。

3 単元のねらい

身近な環境問題に気づき、自分が調べる課題を決めて調べる活動を通して、地球環境をよりよくしていこうとすることができる。

【課題発見力】

- ・地球環境の現状を知って課題意識をもつことができる。

【企画力】

- ・環境問題について調べる課題を決めたり、具体的なエコ活動を考えたりすることができる。

【実行力】

- ・環境問題に関わる自分の課題について資料を集めて調べることができる。

【情報活用力】

- ・環境問題に関わる情報を選んでまとめ、友達が調べたり実践したりしたことと関連付けて考えることができる。

【表現力】

- ・相手や目的を考えて環境問題について調べたことや実践したことを、自分の思いを交えて伝えることができる。

4 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
課題発見力	①地球環境の現状を知り、課題意識をもって身近な環境問題に気づき、自分が調べる課題を見つけることができる。
企画力	①自分の調べる課題を決め、グループの人と協力して、課題解決に向けて調べ方やまとめ方をどのようにするか考え、計画を立てることができる。 ②自分たちができるエコ活動を考えることができる。
実行力	①自分たちの課題について、自分で調べたり、グループの人と協力したりしてまとめることができる。
情報活用力	①自分たちの課題を解決するために解決方法や調査方法を考えて、情報を収集することができる。 ②自分の調べたことと友達の調べたことを関連させ、環境の問題を考えることができる。
表現力	①身近な環境問題について調べたことを、相手にわかりやすくまとめ、発表することができる。

5 単元指導計画（計26時間）

段階	時間	○ねらい・学習活動【評価規準】	工夫と手立て
見 付 け る	(5) 本 時 5/5	○身近な環境問題について考え、調べることを決めることができる。 ・環境カーでさまざまな実験をし、専門家のお話を聞く。[2] ・市役所の方に花巻市の環境問題についての話を聞く。[2] ・身近な環境問題について、自分が調べることを決める。[1] 【課①】	【課題意識をもたせるための工夫】 ・環境問題についてのアンケートを実施し、環境問題への関心を高める。 ・環境問題についてゲストティーチャーから話を聞き、環境問題への関心を高める。 ・話し合いや資料をもとに自分の身近にも環境問題があることに気付かせ、自分が調べる課題を決める。
立 て る	(2)	○グループごとに、学習計画を立てることができる。 ・課題ごとにグループを作り、調べていくことを確認する。[1] ・学習の計画を立てる。[1] 【企①】	【調べ方・まとめ方の提示】 ・調べ方 資料で（本、インターネット） 取材で（インタビューをする、自分で観察する、写真を撮る） 調査して（データをとる） など ・まとめ方 模造紙、新聞形式、映像 など
求 め る	(6)	○グループで協力し、課題解決に向けて調べることができる。 ・グループごとの学習計画にしたがって課題を解決する。[6] 【情①】	【資料の収集】 ・グループの中で情報を交流したり、教師がアドバイスをしたりすることにより、いろいろな方法からなるべく多くの情報を収集させる。
ま と め る	(7)	○グループごとに調べたことをまとめ、発表の準備をすることができる。 ・グループごとにまとめる。[5] 【実①】 ・発表会に向けて練習する。[2] 【表①】	【発表内容の焦点化】 ・ワークシートを活用し、調べた中で特に大切なこと、伝えたいことを中心に発表させる。 【発表の仕方の提示】 ・発表の仕方を提示し、それに基づいて発表原稿を作成させる。
広 げ る	(6)	○発表会を開き、身近な環境を大切にしていけるために、どうしたらよいか考えることができる。 ・発表会をする。[3] 【表①】 ・自分たちの生活を振り返り、身近な環境を守るためにできることを話し合う。[3] 【企②】【情②】	【今後の活動への意欲付け】 ・自分達が調べたことと、友達の発表内容を聞き、意見を交流し合う中で身近な環境を守るためにできることを考えさせる。

6 本時の学習

(1) 仮説とのかかわり

仮説1：「気づきや課題意識をもたせるための工夫」にかかわって

＜課題意識をもたせるための工夫＞

- ・ゲストティーチャーに聞いた環境問題の想起と、事前にとったアンケート結果をもとに身近な環境問題について考え、調べることを考えさせる。

(2) 学習のねらい

身近な環境問題について考え、自分が調べることを決めることができる。

【課題発見力】

- ・環境について学んだ前時までの学習活動や、本時の話し合いの中で、身近な環境問題について考え、自分が調べることを決めることができる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動・予想される児童の反応	・留意点 ◇支援 ☆評価
導入 3分	1 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">環境問題について考え、自分が調べることを決めよう。</div>	・学習計画をもとに、本時の課題を確認する。
活動 37分	2 ゲストティーチャーの話を聞いたことや感じたことを発表し合う。 ・エネルギーを生み出すことによって地球の温暖化が進んでいることがわかった。 ・いろいろな物を燃やすことによって有害な気体を出していることが分かった。 3 身近な環境問題について話し合う。 ○身近にはどんな問題があるのだろうか。 ・ここでも地球温暖化が進んでいると思う。 ・ゴミの問題がある。 ・空気が汚れてきていると思う。 ・酸性雨が降っていると思う。 4 学習課題を決める。 ・地球温暖化について 「自分の家ではエネルギーをむだにしているか調べる」 「花巻市で温室ガスをださないためにしていることを調べ、自分でできることを考える。」 ・ゴミ問題について 「花巻市で、ごみをださないためにしていることを調べる。」 「湯本ではゴミ問題の影響で酸性雨が降っているか調べる。」	・前時に書いたワークシートを発表させる。 ビデオ・写真でも内容をふり返らせる。 ・前時の学習やアンケート結果をもとにどんな環境問題があるか考えさせる。 ・身近にも起こっていることと起こっているであろうことを発表させる。 ・書き方の例を示し、参考にさせる。 ・短冊に書かせ、課題別に分類する。 ◇迷っている場合は相談させたり、児童に助言を与えたりしながら考えさせる。 ・終わった人は、詳しい調べ方を考えるプリントを書かせる。 ☆身近な環境問題について考え、自分が調べることを決めることができたか。
まとめ 5分	5 これから調べることを確認する。 6 次の活動を知る。 ・グループに分かれ、学習計画を立てる。	・分類した課題を確認する。